

03 「持続と成長が可能な次世代水道の構築」を目標とした経営を行います。

水道の経営

水道局では、「大都市・大阪にふさわしい、持続と成長が可能な次世代水道の構築」を目標に、水源の確保、水道施設の整備、災害対策など、様々な事業に取り組んでいます。

水道事業経営の特徴

水道事業はその事業運営に必要な費用のほとんどを水道料金で賄う独立採算制により経営を行っています。

大阪市の水料金の特徴

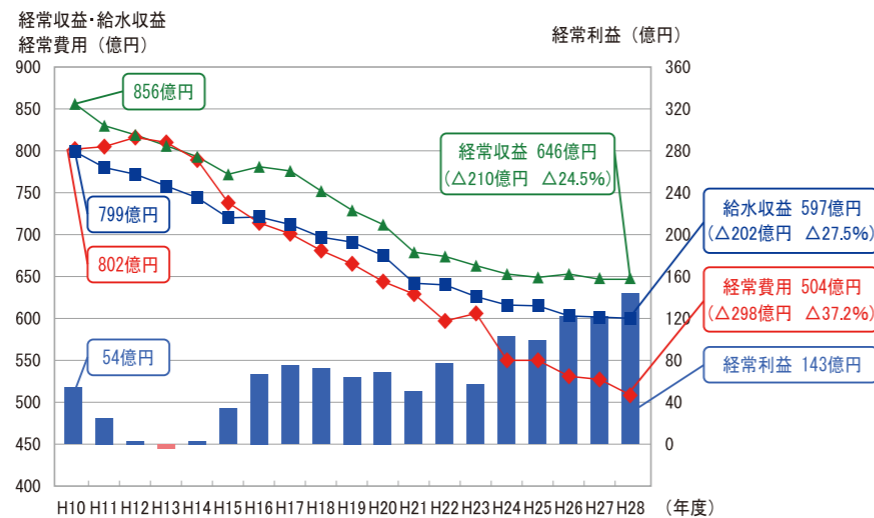
大阪市の水料金は、使用量の増加に応じて水量区画ごとの単価が高くなる制度(逓増制料金)を採用しており、これにより、ご家庭用などの少量使用のお客さまの料金を低く抑えています。

ご家庭で1か月あたり20m³ご使用の場合、大阪市の水料金は、大都市の中で最も安くなっています。

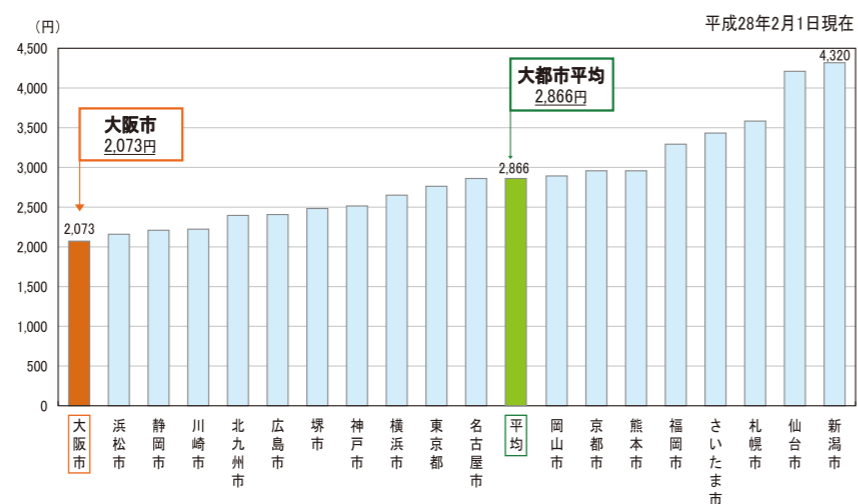


経営の現状

水需要減少の影響により、給水収益が減少していきな、それを上回る経常費用の削減により、これまで経営黒字と料金水準の維持に努めてきました。



一般のご家庭における水道料金の比較(1か月に20m³ご使用の場合)



注 ① 政令指定都市及び東京都との比較です。千葉市と相模原市は、大部分が県営水道のため除いています。
 ② お支払いの際は、下水道使用料と合算で請求させていただきます。
 ③ 金額は、消費税及び地方消費税相当額を含んでいます。
 ④ 口径別料金体系の都市については、口径20mmの料金を適用しています。

大阪市水道経営戦略(2018-2027)

厳しい経営環境にあっても、「大都市・大阪にふさわしい、持続と成長が可能な次世代水道の構築」を目標に、「市民・お客さまの安心安全に向けた『リスクマネジメント』の強化」や「国内外事業・環境への貢献に向けた『資源活用マネジメント』の強化」など、次に掲げる4つの戦略マネジメントを推進します。

4つの戦略マネジメント

1 市民・お客さまの安心安全に向けた「リスクマネジメント」の強化

- (1) 管路耐震化の促進
- (2) 浄・配水場の耐震化
- (3) 事業継続計画の拡充
- (4) 事故リスクの軽減・未然防止対策

3 国内外事業・環境への貢献に向けた「資源活用マネジメント」の強化

- (1) 広域連携の推進
- (2) 体験型研修センターの活用
- (3) 海外貢献及び海外水ビジネスの推進
- (4) 官民連携による事業推進
- (5) 環境対策の推進

2 新たな価値の創造に向けた「組織・経営マネジメント」の強化

- (1) お客さまサービスの向上
- (2) お客さまとの双方向コミュニケーション
- (3) 人材育成と技術承継による組織力強化
- (4) 新技術の導入による水道イノベーション
- (5) 公的ガバナンスの強化

4 持続性の確保に向けた「業務・財務マネジメント」の強化

- (1) アセットマネジメントの推進
- (2) 職員生産性の向上
- (3) 企業債残高の削減
- (4) 物件費等の抑制
- (5) 収入の確保